

光メモリ・画像・計測国際シンポジウム 2024 (ISOM '24)

本シンポジウムは光メモリ技術および、そこからの派生技術であるイメージング・センシング技術に関して、最新の研究開発成果についての議論および情報交換を行い、その発展を促進することを目的とする。

期 日： 2024年10月20日(日)～23日(水)

場 所： アクリエひめじ (〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2)

主 催： 日本光学会

共 催： 光産業技術振興協会

協 賛： 応用物理学会, 日本磁気学会, 電子情報通信学会ほか

参加申込： 下記 URL からお申込みください。

<https://www.isom.jp/>

申込期限： 2024年6月1日(土)

問合せ先： アドスリー内 光メモリ・画像・計測国際シンポジウム事務局

電話 03-3528-9841 E-mail secretary@isom.jp

情報フォトンクス研究討論会 2024

画像システム, 情報フォトンクス・情報光学, 撮像デバイス, ディスプレイ, 画像処理・応用などの研究分野に対する相互理解・情報発信の場として研究討論会を開催します。すべての発表はポスター形式であり, 十分な討論が可能です。デモ展示やスライドショーも歓迎します。当該分野に関わるすべての方々のご投稿, ご参加をお待ちしております。

日 時： 2024年7月2日(火) 13:00～17:00

場 所： 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館2階コラボレーションルーム (東京都目黒区大岡山2-12-1)

<https://www.titech.ac.jp/0/maps/ookayama/ookayama>

主 催： 日本光学会情報フォトンクス研究グループ (IPG)

参加費： IPG 一般会員 5,000 円, 非会員 6,000 円, 学生 2,000 円

参加・発表申込： 下記 URL からお申込みください。

<https://www.i-photonics.jp/meetings.html#20240702PT>

発表申込期限： 2024年5月7日(火)

参加申込期限： 2024年6月25日(火)

問合せ先： 西辻崇 (東邦大)

E-mail ipg-touron2024@i-photonics.jp

精密工学会主催第 436 回講習会「ものづくりにおける生成 AI の活用」

期 日： 2024年5月15日(木)～31日(金)

開催方法： オンデマンド配信

主 催： 精密工学会

協 賛： 日本光学会, 日本機械学会ほか

参加費： 一般 22,000 円, 学生 2,200 円

参加申込： 下記 URL からお申込みください。

<https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-9195/>

申込期限： 2024年5月28日(火)

問合せ先： 精密工学会講習会係

電話 090-3507-1791 E-mail jspe_koushu@jspe.or.jp

第 171 回微小光学研究会「微小光学×宇宙 -Future Optical Sky-」

無人探査機「SLIM」による日本初の月面着陸成功や, 新世代大型ロケット「H3」2号機の打上げ成功など明るい話題が相次ぎました。今回の研究会では, ロボット活用や太陽光発電・エネルギー伝送, 光通信, ロケット推進, 材料の耐性評価など, 今後の宇宙開発光技術に関して第一線で活躍されている研究者をお招きし, 最新の研究成果を紹介いただきます。

日 時： 2024年6月7日(金) 13:00～16:50

場 所： 産業技術総合研究所関西センター C-4 棟 2 階第 8 会議室 (大ホール) (〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31) ハイブリッド開催

主 催： 応用物理学会微小光学研究会

協 賛： 日本光学会, オプトロニクス社

参加費： 一般 5,000 円, 応用物理学会員 4,000 円, 学生・シニア 2,000 円, 学生・シニア応用物理学会員 1,000 円

参加申込： 下記 URL からお申込みください。

<http://www.comemoc.com/meeting/mo171.htm>

申込期限： 2024年6月1日(土)

問合せ先： 桑田宗晴 (三菱電機)

電話 06-6497-7144

E-mail Kuwata.Muneharu@cs.MitsubishiElectric.co.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

JOEM 技術講座「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日 時： 2024 年 5 月 21 日(火) 10:00~16:00 (新型コロナウイルス感染症の状況および対面希望者数によってオンラインへの切り替え可能性あり)

場 所： ハイブリッド形式 (対面+オンライン), 対面は機械振興会館別館 4 階, オンラインは Microsoft Teams 使用.

主 催： 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術振興協会

参加費： 協賛 44,880 円 (テキスト・消費税含む)

定 員： 25 名 (うち対面は先着順 10 名, 対面/オンラインは申込時に選択)

申込期限： 2024 年 5 月 14 日(火)

問合せ先： 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax03-3435-9567

JOEM 技術講座「図解・光散乱とその計測への応用」入門

日 時： 2024 年 6 月 25 日(火) 9:30~17:00

場 所： オンライン形式 (Microsoft Teams 使用)

講 師： 田所利康 (テクノ・シナジー), 岩井俊昭 (東京農工大学)

主 催： 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会, 応用物理学会, 日本光学工業協会
ほか

参加費： 協賛 44,880 円 (テキスト・消費税含む)

定 員： 25 名

申込期限： 2024 年 6 月 14 日(金)

問合せ先： 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第52巻第3号（2024年3月号）目次

「量子光計測」特集号

レーザーコンパス

カオスの真の効用……………梅野健（113）

《特集》

レーザー解説

「量子光計測」特集号によせて……………角屋豊（115）

量子もつれ光を用いた光量子センシング
……………岡本亮，向井佑，竹内繁樹（117）

量子もつれ光を用いた超高感度吸収分光法……………松崎維信（122）

量子増強誘導ラマン顕微鏡の開発
……………小口研一，徐自聡，小関泰之（128）

時間反転から見る量子測定……………小林弘和，小川和久（132）

極低温原子集団を用いた光磁力計……………柴田康介，平野琢也（137）

イオントラップ光時計の量子ネットワーク……………早坂和弘（142）

創立50周年特別

レーザーフラッシュ

レーザー学会50周年企画「レーザーがつくる未来の暮らし」

発刊によせて……………田邊孝純（148）

50年に想いを馳せて……………藤岡加奈，廣澤賢一（149）

レーザーフラッシュ

光メモリ・画像・計測国際シンポジウム2023（ISOM'23）報告
……………中村雄一（153）

著者紹介……………（158）

セルフフォーカス……………（161）

レーザーカレンダー……………（127, 147）

「応用物理」第93巻第5号（2024年5月号）予定目次

解説

有機太陽電池の将来展望……………平本昌宏
ユビキタスフォノンエンジニアリング——ナノスケールでの

フォノン熱輸送の理解と制御が開く応用……………野村政宏

最近の展望

グラフェンにおけるテラヘルツキャリアダイナミクス
……………熊田倫雄

研究紹介

有機半導体の電子移動度（N型特性）はなぜ正孔移動度（P型
特性）に比べて低いのか？——伝導帯バンド構造の実測と部分
ポーラロンモデルによる説明……………吉田弘幸，石井宏幸

生物の神経回路に学ぶ省エネIoT技術……………矢嶋赳彬
アルマ望遠鏡のアップグレードに向けた広帯域受信機技術
……………小嶋崇文，増井 翔

基礎講座

今更聞けない産学連携・技術移転の始め方，育て方
……………原 健二，薄井竜一，高柳 亮

ホッとひといき

量子コンピュータのコンサルティング業務とは……………川又裕也

Inside Out

A reflection on cultural dynamics of study and research in Japan
……………NGUYEN PHAM Hai Huy

書評

グラフェンの物理学——ディラック電子とトポロジカル物性の基礎
……………守谷 頼

Science As Art

ナノドーナツ……………浅井佑太，相川健喜，倉邊海史，
菊池昭彦，大音隆男

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2024年3月10日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
株式会社彩世	チームオプト株式会社
アンシス・ジャパン株式会社	中央精機株式会社
ウシオ電機株式会社	天進技術株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東芝
株式会社エビデント	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エンプラス研究所	株式会社トプコン
オーウェル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キヤノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	日本真空光学株式会社
株式会社清原光学	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社光学技研	浜松ホトニクス株式会社
興和株式会社	株式会社日立製作所
株式会社五藤光学研究所	華為技術日本株式会社
コニカミノルタ株式会社	Phase One Japan 株式会社
株式会社三恵舎	富士フイルム株式会社
株式会社シグマ	古野電気株式会社
小米日本合同会社	三菱ケミカル株式会社
株式会社スカイテクノロジー	株式会社リコー
ソーラボジャパン株式会社	

以上 会員数 45 社, 61 口 (五十音順)
